

報道関係各位

2018年 1月 19日
サイレックス・テクノロジー株式会社

**サイレックス・テクノロジー、『働く車』向け高速起動CAN/無線ブリッジ『CDS-2150』販売
～CAN データを無線 LAN に変換・配信・ロギングし、稼働監視の効率アップを実現～**

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社：京都府精華町、代表取締役社長：河野 剛士、以下 サイレックス)は、CAN 通信を無線 LAN に変換する、産業用車両（『働く車』）を主ターゲットにした CAN/無線ブリッジ『CDS-2150』を1月29日（月）に販売開始することを発表しました。

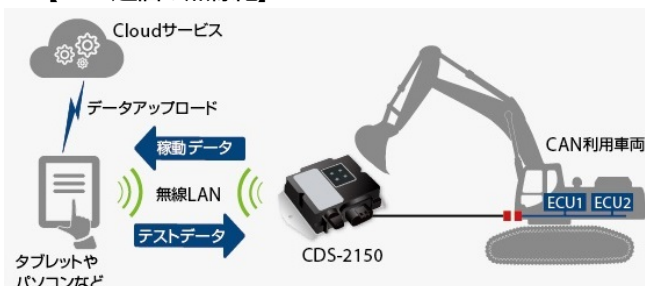


『働く車』向け CAN/無線ブリッジ『CDS-2150』

建設・農業用産業車両を中心に、搬送機・工作機械などの産業機器ライン制御、また医療機器や各種計測器まで応用範囲が広がっている CAN 通信利用において、現場の保守作業効率の向上や IoT サービス対応を目的とした無線化要望が高まっています。このような用途において、製品開発用途を想定した従来の CAN 通信端末では、対環境性仕様・価格の双方において、量産製品向け搭載条件を満たすことは困難でした。また、マイコンとリアルタイム OS を使った現行の制御コントローラーをそのまま IP ネットワークに対応させることが難しい、という課題を抱えています。

本製品は、Linux® OS とサイレックス無線 LAN モジュールを搭載した、IP 通信・IoT アプリケーションと親和性の高い CAN/無線ブリッジです。本機を車両、産業機器などの CAN バスに接続することで、無線 LAN を使ったワイヤレス稼働監視アプリケーションや省配線 CAN ネットワークを実現できます。さらに、本製品に搭載された CAN ロガー機能を利用することで、現場で特定しづらい動作異常の早期発見や、作業オペレータの操作解析・最適化といった IoT サービスにも有効活用できます。本製品は、車両・産業機器への標準搭載を想定した耐環境性仕様(動作温度、防塵防水対応等)・価格を実現しているため、実証評価から量産搭載までの初期開発コストを極小化することが可能です。

【CAN 通信の無線化】



【CAN 通信情報のロギング】



【有線 CAN 配線の無線ブリッジ(省配線化)】

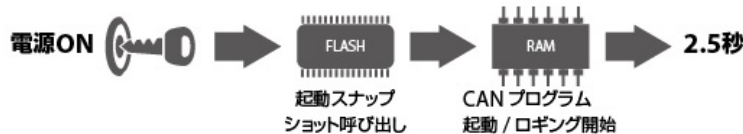


本製品の特長として、CAN 通信アプリケーションで要望される高速起動や CAN/IP 変換の最適化にも対応しています。これらの特長と、Linux® OS を搭載した CAN/無線ブリッジとしての IP ネットワークとの親和性を活かすことで、効率的かつ早期の IoT サービスを実現できます。また、サイレックスでは本製品を利用する車両・機器メーカー向けに、ハードウェアおよび組み込みアプリケーションの custom 開発やキッティングサービスもあわせて提供します。

【サイレックス CAN/無線ブリッジの特長】

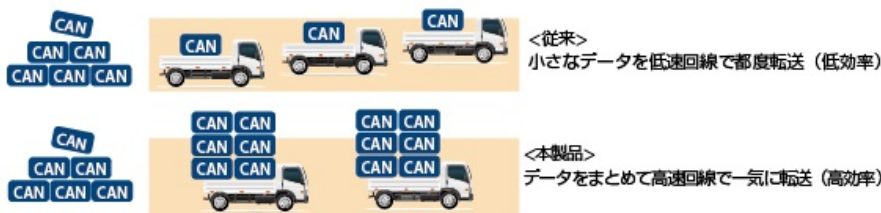
・CAN 高速起動

車両ロギングで必要とされる電源 ON から本機の高速起動や高速ロギング開始(2.5 秒)をサポート。電源投入直後からの CAN ログ取得を可能にします。

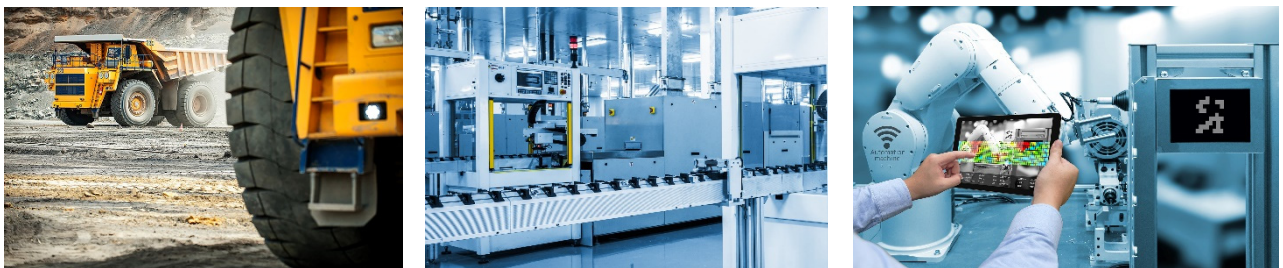


・ブリッジ通信の最適化

本製品の CAN/無線変換機能は CAN の最大ボーレート 1Mbps の低帯域、小サイズフレーム通信に最適化されており、広帯域な無線 LAN 通信でもストレスなく通信できます。



サイレックスは現在販売中の、より遠距離でのワイヤレス通信やカメラ映像にも対応した『GDM-3250』とあわせ、リモート監視アプリケーションや IoT サービスと連携する働く車、産業機器、各種検査装置などを開発する機器メーカー向けに、本製品を広く販売していきます。



利用用途イメージ：働く車(建機・農機・特装車)、産業機器、各種検査装置向けのワイヤレス監視、省配線化

【製品特長】

- ・ CAN 通信に最適化された CAN/無線変換機能(Converter Server Mode)
 - ・ 有線 CAN 通信の無線ブリッジ機能(e-Cable Mode)
 - ・ 内蔵 eMMC ストレージを使った CAN ログ機能
 - ・ IEEE 802.11b/g/n 2.4GHz 無線 LAN 対応
無線 LAN モジュールは IEEE 802.11 b/g/n 対応 『SX-SDMGN』 (サイレックス製) を採用。アクセスポイント機能、ステーション機能、WPA-PSK(AES/TKIP) / WPA2-PSK(AES)暗号化機能などに対応。
 - ・ 複数の外部接続インタフェースを標準でサポート
無線 LAN x1、CANx2、USB x1、RS-485/422 x1、デジタル入力 x2、デジタル出力 x1
 - ・ USB On-The-Go インタフェースを利用した、CAN over USB 通信*、外部 USB 記憶装置への CAN ログ保存機能
 - ・ 車載対応の耐環境性仕様
動作温度(-30℃~65℃)、防塵防水(JIS D 0207F2/0203 D2 準拠)、耐振動・衝撃等
 - ・ ハードウェアやソフトウェアのカスタム対応やキittingサービスの提供 (個別ご相談)
- * Windows®の Remote NDIS を利用した USB 有線ケーブルでの CAN 通信機能です。

◆働く車向け CAN/無線ブリッジ 『CDS-2150』 製品ページ：

<http://www.silex.jp/products/fabridge/cds2150.html?pr180119>

サイレックス・テクノロジーについて <http://www.silex.jp/index.html?pr=180119>

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社：京都府精華町)は、機器をネットワークやワイヤレスにつなげるハードウェア・ソフトウェアの技術を核とした研究開発型企業です。

プリンタやMFPといったOA機器やワイヤスルータなどのPC周辺機器をはじめ、医療機器・産業機器など確実な接続性が求められる機器にもネットワークやワイヤレスのノウハウを活かした製品を提案し、ビジネスの幅を広げています。品質基準を厳格に保つため、設計・開発・生産・品質保証といった一連のプロセスを「かいはんな本社」に集約しています。海外パートナーとの連携や新市場開拓、新技術の情報収集・開発などグローバルなビジネス展開のため、北米・欧州・中国・インドに拠点を設けています。

・記載された社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

【本プレスリリースに関するお問合せ先】

■サイレックス・テクノロジー株式会社

PR 担当窓口：経営企画部

E-mail：press@silex.jp

Tel.0774-98-3781 Fax.0774-98-3767



Twitter：[@silex_marcom](https://twitter.com/silex_marcom)

http://twitter.com/silex_marcom



Facebook：

<http://www.facebook.com/silexjp>

